



## 南米での国際学会参加と学術交流報告 —第21回 UIP 世界会議およびパラグアイ国立大学講演—

日本静脈学会国際委員会 今井崇裕（西の京病院血管外科センター）

このたび、2025年10月8日から11日までアルゼンチン・ブエノスアイレスにて開催されたXXI UIP World Congress Buenos Aires 2025に参加いたしました。本会は静脈・リンパ学の専門家が世界中から一堂に会する国際会議であり、80か国以上から約1,500名の医師・研究者が参加し、静脈疾患に関する最新の研究成果や臨床的課題について活発な討論が行われました。会期中は、各国の専門家による講演やシンポジウムが多数開催され、国際的な視点から静脈疾患治療の現状と今後の展望について有意義な意見交換がなされました。

学会の合間には、開催地であるブエノスアイレスの文化にも触れる機会がありました。カラフルな家並みと情熱的なタンゴの音楽で知られるラ・ボカ地区の「カミニート通り」を訪れ、芸術と歴史が融合した南米特有の活気を肌で感じることができました（写真1）。また、アルゼンチン名物のステーキ（アサード）も堪能し、学術的刺激とともに異文化交流の貴重な体験となりました。

会期中には、本学会の理事長である孟 真先生がUIPのVice Presidentに選出されました（写真2）。これにより、日本静脈学会のこれまでの学術的貢献が国際的に高く評価され、日本における静脈学研究の地位がさらに高まる結果となりました。ブエノスアイレスは日本からの直行便がなく、北米を経由して片道約30時間近い長旅となりました。時差や移動の疲労もありましたが、南米大陸の

活気と情熱はその苦勞を忘れさせるものでした。

学会終了後は、隣国パラグアイの首都アスンシオンへ移動し、アスンシオン国立大学医科学部にて講演を行いました。孟理事長は「日本静脈学会の歴史と活動」について、私は「日本における下肢静脈瘤治療の現状」について発表しました（写真3）。アスンシオンは南米特有の温暖で穏やかな雰囲気にも包まれた都市で、人々は非常に親しみやすく、現地の医療従事者や医学生の皆さんも熱心に耳を傾けてくださいました。講演後の質疑応答を通じて、両国間での医療知識や技術の交流を深める貴重な機会となりました。

翌日には、アスンシオン国立大学心臓血管外科教授のJorge Flores先生が自ら運転され、治安上やや緊張感のあ



写真1 ラ・ボカ地区のカミニート通り  
右から、筆者：今井崇裕（西の京病院）、孟 真理事長（並木クリニック）、小川智弘副理事長（福島第一病院）



写真2 孟 真理事長（右端）がUIP Vice Presidentに選出された様子

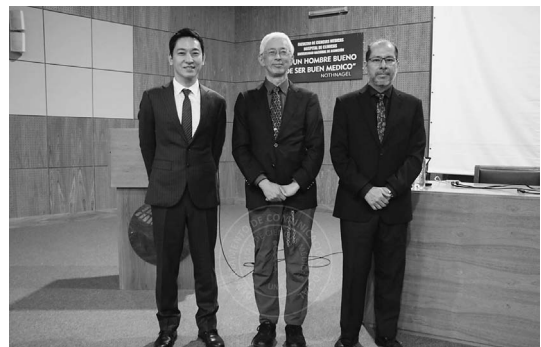


写真3 アスンシオン国立大学医科学部  
右から、Jorge Flores 教授（アスンシオン国立大学心臓血管外科）、孟 真理事長（並木クリニック）、筆者：今井崇裕（西の京病院）



写真4 イグアスの滝

右から，筆者：今井崇裕（西の京病院），Jorge Flores 教授（アスンシオン国立大学心臓血管外科）と夫人，孟真理事長（並木クリニック）

るブラジル国境を越えて，イグアスの滝へご案内くださいました（写真4）．世界三大瀑布の一つに数えられるイグアスの滝は，大小合わせて約275本もの滝が連なり，轟音とともに圧倒的な水量が流れ落ちる光景はまさに壮観でした．滝の水しぶきが立ちこめる中，虹が何重にもかかる幻想的な風景は言葉を失うほど美しく，大自然の力強さとスケールの大きさを全身で感じることができました．この壮大な自然の光景は，学会で得た知的刺激と並んで，忘れがたい体験となりました．

今回の南米での活動を通じて，静脈学の国際的潮流を肌で感じるとともに，日本の研究成果を世界に発信する意義を改めて実感しました．今後も本分野のさらなる発展に貢献できるよう，引き続き研鑽を重ねてまいります．





# 第 49 回韓国静脈学会学術総会 (The 49<sup>th</sup> KSP Conference of the Korean Society for Phlebology) に参加してまいりました

第二川崎幸クリニック 下肢静脈瘤センター・血管外科 白杉 望

## 1) 日本静脈学会は韓国静脈学会と、積極的な学術交流をしています

2023 年より、日本静脈学会 (Japanese Society of Phlebology: JSP) と韓国静脈学会 (The Korean Society for Phlebology: KSP) は、積極的に学術交流を行っています。たとえば、2025 年に旭川で開催された第 45 回日本静脈学会総会 (会長: 東信良先生) において、「KSP-JSP Exchange Session」が開催されました (座長: 孟真先生)。Jin Yong Jeong 先生と Sang Dong Kim 先生が講演されました。そして今回、第 49 回韓国静脈学会学術総会が、2025 年 11 月 2 日日曜日にソウルで開催されましたが (図 1)、私は、Session 3: Korea-Japan Session において、座長ならびに講演者を拝命し、参加してまいりました。ついては、この場をお借りして、ご報告申し上げます。

## 2) 第 49 回 KSP 学術総会において、Korea-Japan Session が開催されました

### ① 2025 年 11 月 1 日土曜日. 学術総会前日.

私はお昼過ぎにソウル金浦空港に降り立ちました。学会のプログラム委員でいらっしゃる Woosik Kim 先生 (National Medical Center Seoul) がゲートまでお迎えに来てくださいました。日本よりのもう一人の講演者、今井崇裕先生 (西の京病院血管外科) と合流して市内に向かいました。その晩には、学会会長でいらっしゃる Wonsuk Chung 先生 (Yonsei Cardiovascular & Thoracic Surgery Clinic) が歓迎の食事会を開いてくださいました。食卓を囲みながら、静脈学の臨床や学会活動、近況について語り合う貴重な交流の時間を持つことができました (図 2)。

### ② 2025 年 11 月 2 日日曜日. 学術総会当日.

Korea-Japan Session は、11:20-12:30 に開催されました (図 3)。座長は、Jang Yong Kim 先生 (Seoul St. Mary's Hospital, The Catholic University) と私が務めました。セッションテーマは「静脈性潰瘍 (venous ulcer)」。KSP からのお二人の先生は、外科治療と薬物療法について講演されました。一方、JSP からは、今井先生が「Wound care for venous leg ulcers」というタイトルでご講演されました。私は「Compression therapy for venous leg ulcers」というタイトルで、「静脈疾患におけるガイドライン 2025」

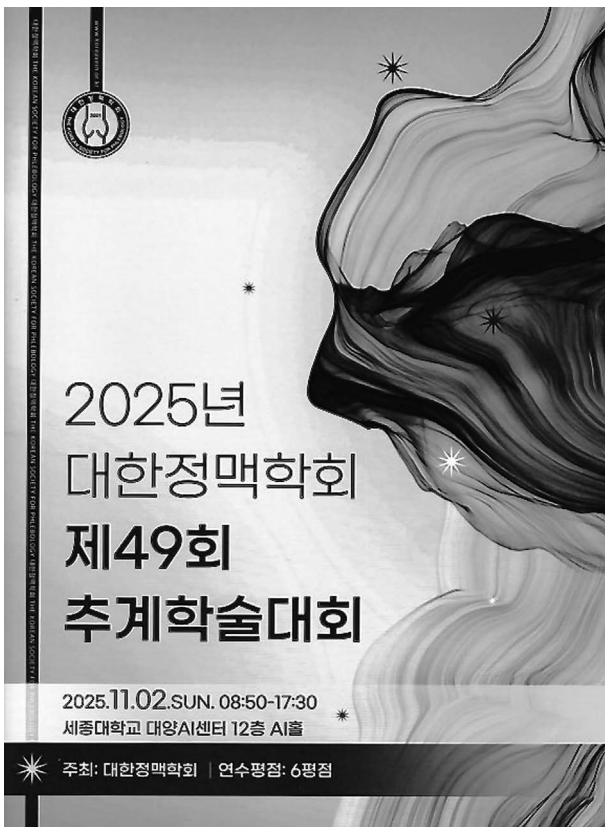


図 1 第 49 回韓国静脈学会学術総会プログラム



図 2 学会総会前夜の食事会記念写真  
前列右から 2 番目が、Wonsuk Chung 先生、右から 4 番目が今井先生。後列右から 2 番目が Woosik Kim 先生。前列中央が筆者。

**49th Annual Fall Conference  
of the Korean Society for Phlebology 2025**

**Session 3. (Eng) Korea–Japan Session (Venous Ulcer): 11:20–12:30 (KST)**

Chairpersons: Jang Yong Kim (Seoul St. Mary's Hospital, The Catholic University)  
Nozomu Shirasugi (The 2nd Kawasaki Saiwai Clinic)

- S3-1. Surgical treatment selection for venous leg ulcers**  
Joon Sung Kwon (Chuncheon Sacred Heart Hospital, Hallym University)
- S3-2. Compression therapy for venous leg ulcers**  
Nozomu Shirasugi (Varicose Vein Center, The 2<sup>nd</sup> Kawasaki Saiwai Clinic)
- S3-3. Pharmacotherapy for venous leg ulcers**  
Byung Joon Yoon (Daejeon Sun Hospital)
- S3-4. Wound care for venous leg ulcers**  
Takahiro Imai (Department of Vascular Surgery, Nishinokyo Hospital)

図3 第49回韓国静脈学会学術総会 Korea–Japan Session プログラム



図4 筆者講演の様子



図5 KSPの先生方との記念写真（学会セッション後，学会場にて）

のCQ5,6のエビデンスを中心に講演させていただきました（図4）。英語による発表・討論でしたが、今井先生や私の発表には、KSPの先生方はとても興味がある様子で、多くの質問をいただき、有意義な討論をすることができました。その晩には、KSP理事長でいらっしゃる

Sun Cheol Park先生（Seoul St. Mary's Hospital）主催によるオフィシャルディナーが華やかに催されました。KSPからも多くの先生方が出席され、笑顔と会話があふれる、にぎやかな交流のひとつとなりました（図5）。



図6 Charm Vascular Clinicにて記念写真  
右端より、今井先生、院長の Insoo Park 先生、筆者。

### ③ 2025年11月3日月曜日、学術総会翌日。

翌日は文化の日で祝日だったため、今井先生とともに Charm Vascular Clinic を訪問しました。院長の Insoo Park 先生の手術（EVLA, 本幹硬化療法, Flebogrif）を見学させていただきました（図6）。なかでも Flebogrif は、私にとっては初めて拝見する手術手技で、とても勉強になりました。

### 3) 第50回 KSP 学術総会が、2026年4月12日日曜日、釜山にて開催されます（図7）。

最後に、お知らせです。

次回の KSP 学術総会は、第50回を迎える記念大会として、今年4月12日の日曜日に釜山で開催されます。KSP 側からは、JSP 学会員の積極的な参加に大きな期待が寄せ

られており、当日は複数のセッションを通じて日韓の学術交流をさらに深める機会が準備されています。演題募集については、先日、国際委員会からアナウンスがあった通りです。釜山の学術総会への多くの先生方のご参加をお待ちしております。

### 第50回 KSP 学術総会開催概要：

- ・学 会 名：The 50th Conference of the Korean Society for Phlebology
- ・開 催 日：2026年4月12日（日）
- ・開 催 地：Busan Port International Exhibition & Convention Center（BPEX, 釜山）
- ・公式サイト：<https://www.koreavein.or.kr>

### 謝 辞

今回、第49回 KSP 学術総会における講演の機会を与えてくださいました、KSP の先生方、日本静脈学会理事長・孟真先生、そして、日本静脈学会国際委員会委員の皆様、心より感謝申し上げます。また、短期間に、旅程と KSP 先生方との meeting の調整にご尽力くださった、日本静脈学会国際委員会事務局・黒木絵美様、KSP 事務局 Sejin Yoon 様、ありがとうございました。最後に、10年ぶりのソウルで右も左もわからない私が、座長や講演、そして多くの先生方との交流をトラブル何ひとつなくこなすことができたのは、今井先生のおかげです。とっても充実した時間でした、ありがとうございました。